

取組概要

佐伯市立鶴谷中学校では、地域児童生徒支援コーディネーターにより、「人間関係づくりプログラム」の取組が工夫されています。「シンプルで誰でもできるものを、一枚岩で実践する」ことを大切にしたい取組を紹介します。

エクササイズ

- ※エクササイズは3種類
「質問ジャンケン」「二者択一」「アドジャン」
- ※お題（テーマ）は5種類。一週間ごと

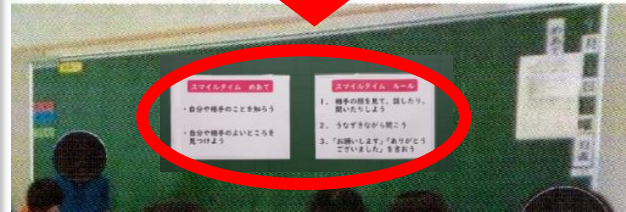
	月日	エクササイズ
1	2日(金)	質問ジャンケン【シート①】
2	9日(金)	質問ジャンケン【シート②】
3	16日(金)	質問ジャンケン【シート③】
4	30日(金)	質問ジャンケン【シート④】
5	7日(金)	二者択一【シート①】
6	14日(金)	二者択一【シート②】
7	21日(金)	二者択一【シート③】
8	28日(金)	二者択一【シート④】
9	4日(金)	アドジャン【シート①】
10	11日(金)	アドジャン【シート②】
11	18日(金)	アドジャン【シート③】
12	25日(金)	アドジャン【シート④】
13	2日(金)	質問ジャンケン【シート①】
14	9日(金)	質問ジャンケン【シート②】
15	16日(金)	質問ジャンケン【シート③】

黒板掲示

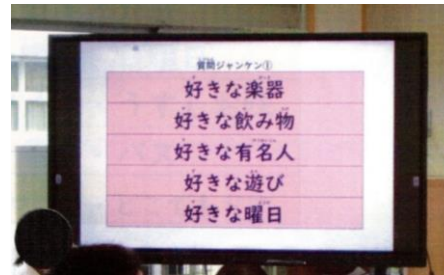
- ※めあて
 - ・自分や相手のことを知ろう
 - ・自分や相手のよいところを見つけよう

- ※ルールは3つ。3年間。
〈行動の教育であるSSTを意識する〉

 1. 相手の顔を見て、話したり、聞いたりしよう
 2. うなずきながら聞こう
 3. 「お願いします」「ありがとうございました」を言う



※お題は、ロイロノートの【資料箱】に保存しているもの（一年間分）を、電子黒板に表示する



シナリオ

担任がいなくても学年部で対応可能

鶴谷中 短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」 スマイルタイムの進め方② 「二者択一」

1 (アイ) メッセージを用いた肯定的なストロークを中心に、生徒指導の3機能（自己在関係・自己決定）を意識して行います。生徒の素敵な姿を見つけた時は、その場で評価生徒へは、エクササイズ中や終了後に否定的な対応をしないように伝えます。盛り上がりすぎた様子があれば、一旦中断して進め方を確認します。

- 【準備（毎回同じ）】 準備物：iPo
 ・エクササイズシートを全画面表示にして、電子黒板へミラーリングする。（シート①～⑤を第1週から順に使用します）
 ・黒板に「めあて」と「ルール」を貼る。（A3ラミネート2枚）

- 【活動の流れ】
 〈めあてとルールの確認〉
 ① 始めの挨拶をします。
 ② 「今日のスマイルタイムは、二者択一です」
 ③ 「めあてとルールを確認します」 * SST（ソーシャルスキルトレーニング）です。えるとともに、授業でも活かせるようにします。
 *初めてのエクササイズの際は、お手本（モデリング）を示して説明します。

- 〈エクササイズ〉
 ④ 「始めに先生が言います」 * 教師から自己開示。二つのうち、好きな方を選び、理由（答え方）「私は〇〇の方が好きです。理由は△△だからです」
 ⑤ 「では、自分の答えを考えましょう」 * 1分程度

教師の留意点

- ・生徒指導の3機能を意識して取り組む
- ・アイメッセージ中心の言葉かけ
- ・無理をさせない
- ・肯定的な働きかけ中心
- ・ノンバーバルメッセージを意識する 等

ふりかえり

短時間でも必ず行い、感情の共有を図る。
 （感情の教育である構成的グループエンカウンター【S G E】を意識する）

- ・自分の胸で振り返る。
- ・隣の人と伝え合う。
- ・グループで伝え合う。 等